

## 被害回復給付金支給申請書（別記様式第一）の記載要領

### 1 氏名、住所等欄

#### (1) 申請人が個人の場合

「申請人」欄に氏名、生年月日（年齢）、郵便番号、住所、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し、押印してください。

#### (2) 申請人が法人等の場合

「申請人」欄に名称、郵便番号、住所、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し、押印するとともに、「代表者又は管理人」欄に代表者又は管理人の氏名、生年月日（年齢）、郵便番号、住所、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載してください。

#### (3) 代理人によって申請をする場合

「申請人」欄の記載に加え、「代理人」欄に、代理人の氏名又は名称、生年月日（年齢）、郵便番号、住所、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し、押印してください。

なお、代理人が弁護士の場合は、「代理人」欄に、当該弁護士の氏名を記載するとともに、連絡先として当該弁護士が所属する事務所の名称、所在地、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し、押印してください。また、代理人が弁護士法人の場合は、「代理人」欄に、当該弁護士法人の名称、所在地、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）を記載し、押印するとともに、その業務を担当する弁護士の氏名を記載してください。

### 2 「被害者」欄

被害にあった者が申請人である場合は、「申請人」にレを付け、「被害者」欄の氏名・住所等の記載は必要ありません。

被害にあった者が申請人以外の者（被相続人など）である場合は、「その他の者」にレを付け、被害者の氏名又は名称、生年月日（年齢）、郵便番号、住所を記載してください。

### 3 「一般承継人」欄

申請人が被害者の相続人等の一般承継人である場合は、相続等の一般承継の理由及びその年月日、一般承継人と被害者の関係を記載してください。

### 4 「支給手続番号」欄

犯罪被害財産支給手続又は外国譲与財産支給手続の開始決定時に公告された、当該手続を特定するために付された手続番号を記載してください。

### 5 「被害にあわれた年月日時」欄

「被害者」欄に記載した被害者が、被害にあった日時を記載してください。

#### 6 「被害にあわれた場所」欄

「被害者」欄に記載した被害者が、被害にあった場所を記載してください。

#### 7 「犯人の名前又は団体名」欄

「被害者」欄に記載した被害者が、被害にあった事件の犯人の名前又は団体名を記載してください。犯人の名前等は、支給手続開始決定時に公告された被告人の氏名等と同じことが多いと思いますが、事案によっては異なる場合も考えられます。

#### 8 「被害にあわれた状況」欄

「被害者」欄に記載した被害者が受けた被害について、

- ・ 犯人との接点が生まれた経緯や犯人との関係
- ・ 被害を受けるに当たり、犯人から投げかけられた文言
- ・ 犯人に財産等を渡した経緯や状況

などを、簡潔に記載してください。

例：令和 年 月 日ころ、自宅に送られたダイレクトメールに、低金利で融資するとの広告がのっていたことから、そのダイレクトメールにのっていた連絡先（03-xxxx-xxxx）に電話をした。そうしたら、電話に出たAと名乗る男から、融資をする前に保証金が必要との説明を受けたので、令和 年 月 日、Aが指定する住所（東京都千代田区xx-xx-xx）あてに、現金書留で50万円を送ったが、融資を受けることはできず、50万円をだまし取られた。

#### 9 「支給を受けようとする金額」欄

「犯罪行為により失われた財産の価額」欄には、支給対象となる犯罪行為により、「被害者」欄に記載した被害者から犯人に移転した財産の価額を記載してください。犯人に移転した財産が金銭以外である場合は、その価額の算定の根拠も記載してください。この場合、価格は時価（当該犯罪行為の時点を基準とした額）としてください。

「控除対象合計額」欄については、支給対象となる犯罪行為により失われた財産の価額に相当する損害について、犯人などにより、そのてん補又は賠償がされた場合は、そのてん補額及び賠償額を合算した額を記載してください。また、「(内訳)」欄に、「てん補又は賠償を受けた年月日」、「てん補又は賠償をした者の氏名又は名称(犯人との関係)」、「てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称(被害者等との関係)」、「てん補又は賠償額」をそれぞれ記載してください。

#### 10 「支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についての合意の有無及びその内容」欄

他の申請人又は申請人となるべき方との間で、各人が支給を受けるべき被害回復

給付金の額の割合についての合意がない場合は、「合意はない」にレを付け、この欄のその他の記載は必要ありません。

この合意がある場合は、「以下の合意がある」にレを付けた上で、合意した他の申請人等の氏名（法人等の場合は名称）、郵便番号、住所、電話番号（ファクシミリがあれば更にその番号）、合意の内容を記載してください。

11 「払渡しを受ける機関その他その払渡しを受けるために必要な事項」欄

被害回復給付金の振込先口座について、口座名義人の氏名及び郵便番号、住所、金融機関名及び口座番号を記載してください。この口座は、申請人本人の名義のものに限ります。

なお、原則として、被害回復給付金の支給は口座振込とさせていただきますが、やむを得ない事情がある場合は、「その他の必要な事項」欄にその旨を記載してください。